

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		4-1-3			事業名	合流式下水道の改善事業	
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 白鳥 818-3441						
全 体 計 画							
事業内容	大雨の時などに、汚水の混じった雨水が流れ出て川を汚してしまう問題を解決するため、吐口（はきぐち）対策や、雨の降り始めの特に汚れた下水を一時的に貯める下水道管（貯留管）の整備などを実施する。				<年度別の事業内容>		
					19年度	豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善（雨天時活性汚泥法）に関する調査	
					20年度	豊平川雨水貯留管の実施設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善（雨天時活性汚泥法など）に関する調査	
					21年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置	
					22年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容（決算）				平成20年度事業内容（決算）		
	・豊平川雨水貯留管の基本設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所 ・雨天時の放流水質の改善（雨天時活性汚泥法）に関する調査 雨天時活性汚泥法 水再生プラザにおいて、処理の工程を工夫することにより、雨天時に通常の2～3倍の下水を処理する方法。				・豊平川雨水貯留管の実施設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ・雨天時の放流水質の改善（雨天時活性汚泥法等）に関する調査		
	平成21年度事業内容（決算）				平成22年度事業内容（予算）		
・豊平川雨水貯留管の工事着手 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所				・豊平川雨水貯留管の工事（継続） ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 2カ所 ・新川水再生プラザへの雨天時活性汚泥法の導入 ・手稲処理区における合流改善事業計画の策定 ・水再生プラザ及びポンプ場におけるきょう雑物除去対策に関する調査			

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
吐口対策実施済数(累計)		6力所	13力所	17力所	21力所	23力所	22力所
豊平川貯留管の整備進捗率		-	-	1%	1%	21%	35%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 下水道事業パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用等により、下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、合流式下水道の改善事業についても公表している。また、下水道モニター制度、市営企業調査審議会等により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>豊平川雨水貯留管については、合流式下水道の改善だけではなく、浸水対策としても有効に活用できる施設として工事に着手できた。</p> <p>また、吐口対策については、ほぼ予定通りに事業を実施することができた。</p>				<p>合流式下水道の改善については、豊平川処理区及び新川処理区のほか手稲処理区で対策を進めるが、雨水貯留管による整備は大きな効果が得られる反面、多額の費用を要することから、より効率的な技術について調査・検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>豊平川雨水貯留管について26年度の完成を目指すとともに、吐口対策についても、より経済的な方法である渦流式水面制御装置を適用可能な箇所に導入していくなど、引き続き合流式下水道の改善事業を進めていく。</p>							

(単位:千円)

施策体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業			
事業費の推移							
項目			19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費		252,000	129,000	449,000	1,152,000	1,982,000
	財源内訳	国・道支出金	80,000	53,000	179,000	461,000	773,000
		市の債	163,000	69,000	247,000	633,000	1,112,000
		その他の	9,000	7,000	23,000	58,000	97,000
		一般財源	0	0	0	0	0
予算	事業費		252,000	201,617	447,447	1,087,890	1,988,954
	財源内訳	国・道支出金	80,000	56,631	177,710	468,465	782,806
		市の債	163,000	131,552	228,217	554,149	1,076,918
		その他の	9,000	13,434	41,520	65,276	129,230
		一般財源	0	0	0	0	0
実績	事業費		278,409	171,700	128,117	-	578,226
	財源内訳	国・道支出金	101,000	67,908	43,122		212,030
		市の債	153,116	86,398	67,449		306,963
		その他の	24,293	17,394	17,546		59,233
		一般財源	0	0	0		0
事業費の進捗率			(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)				84.1%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] (全体)							
平成20年3月に合流式下水道における改善対策の早期推進のため、「札幌市合流式下水道緊急改善計画」を変更し、合流式雨水吐口のスクリーン施設の設置(全体計画 58カ所)については、当初計画より前倒しすることとした。							
[21年度]							
豊平川雨水貯留管に関する地元住民への説明会に期間を要したため、工事発注が当初より遅れ差異が生じた。							
[22年度]							